



マブチグループ
社会・環境報告書 2016



CONTENTS

- 会社概要 02
- ご挨拶 03

モーターによる社会貢献

- 環境にやさしい製品づくり 06

社会性報告

- コーポレートガバナンス 09
- コンプライアンス 10
- リスクマネジメント 11
- ものづくり・教育に対する支援活動 13
- 地域支援活動 15
- 活気のある職場づくり 16

環境報告

- 環境マネジメント 20
- グリーン調達 21
- 環境にやさしい企業運営 22
- 環境コミュニケーション 23
- 環境リスクマネジメント・環境データ 25



対象期間 : 2015年度 (2015. 1. 1~2015. 12. 31) * 一部対象期間外
対象範囲 : モーターの設計、製造、販売、サービスの提供に関わる環境活動及び社会的な取り組みの内容
対象組織 : マブチグループ

【日本（本社）】

・ マブチモーター株式会社

【北・中南米】

・ MABUCHI MOTOR AMERICA CORP. (アメリカマブチ)
・ MABUCHI MOTOR MEXICO S. A. DE. C. V. (メキシコマブチ)

【欧州】

・ MABUCHI MOTOR (EUROPE) GmbH (ヨーロッパマブチ)

【アジアパシフィック】

・ 華淵電機工業股份有限公司 (台湾マブチ)
・ 萬寶至馬達股份有限公司 (高雄マブチ)
・ MABUCHI MOTOR VIETNAM LTD. (ベトナムマブチ)
・ MABUCHI MOTOR DANANG LTD. (ダナンマブチ)
・ MABUCHI MOTOR (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポールマブチ)
・ MABUCHI MOTOR KOREA CO., LTD. (韓国マブチ)

【中国・香港】

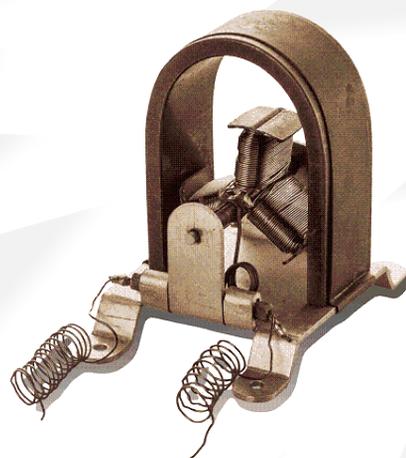
・ 萬寶至實業有限公司 (香港マブチ)
・ 万宝至馬達 (東莞) 有限公司 (東莞マブチ)
・ 万宝至精工 (東莞) 有限公司 (路東マブチ)
・ 東莞道ジャオ万宝至馬達有限公司 (道ジャオマブチ)
・ 万宝至馬達 (江西) 有限公司 (江西マブチ)
・ 万宝至馬達大連有限公司 (大連マブチ)
・ 万宝至馬達瓦房店有限公司 (瓦房店マブチ)
・ 万宝至馬達 (江蘇) 有限公司 (江蘇マブチ)
・ 万宝至馬達 (上海) 有限公司 (上海マブチ)
・ 万宝至馬達貿易 (深圳) 有限公司 (深圳マブチ)

夢に力を

マブチモーターは「夢」とともに生まれ、育ちました。
 子供たちの夢、技術者の夢、お客様の夢…。そうした多くの人々が描く「夢」に応えることで、私たちは歩み、成長してきたのです。

そして変革の時代、21世紀を迎えて、「モーター」という小さな機能部品は今も人々の暮らしや社会、産業を支えながら、世界中の様々なシーンで新しい「夢」を創出し続けています。

私たちは今、創業期の原点に立ち返り高性能小型直流モーターをより早く、より安く、より安定的に世界中の皆様にお届けしていくことでその「夢」の一つひとつを動かす「力」を生み出していきたいと願っています。

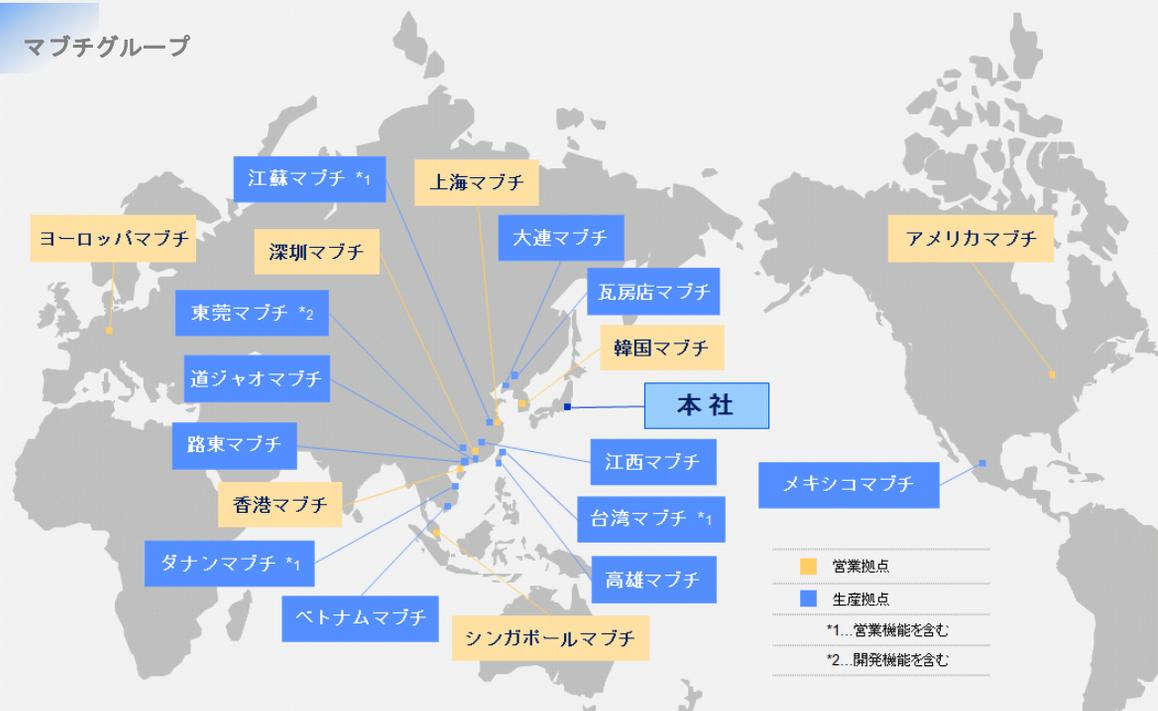


創業者が1947年に発明した馬蹄型マグネットモーター

会社概要

■ 商号	マブチモーター株式会社 MABUCHI MOTOR CO., LTD.	■ 連結業績	売上高	1,431億4千3百万円
■ 創立年月日	1954年1月18日		当期純利益	185億4千6百万円 (2015年12月期)
■ 事業内容	小型モーターの製造販売	■ 所在地(本社)	千葉県松戸市松飛台430番地 〒270-2280 TEL: 047-710-1111 (代表)	
■ 資本金	207億481万円	(技術センター)	千葉県印西市竜腹寺280番地 〒270-2293 TEL: 047-710-1222 (代表)	
■ 代表者	代表取締役社長 大越博雄			
■ 従業員数	本社: 762名 グループ: 24,419名 (2015年12月末現在)			

マブチグループ



代表取締役社長

大越博雄



— 夢に力を — 私たちはモーターを通じて社会に貢献します。

マブチモーターは、1954年、世の中の子供たちが安全に楽しむことができる、良質で安価なモーターをつくりたいとの思いを胸に創立されました。当社におけるすべての活動を貫く根本的な考え方である経営理念『国際社会への貢献とその継続的拡大』は、マブチグループ全社員の「企業は社会に貢献するため、人々の幸せに寄与するために存在する」との考えのもと、日々の活動に取り組む礎となっています。

当社の経営理念は、社会と企業双方の価値を両立させ、企業の事業活動を通じて社会的な課題を解決していくことを目指すCSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）の考え方とまさに一致するものであり、社会的な問題の解決活動と企業の事業活動とが同じベクトルで持続的に共存しうる形での社会貢献こそが当社の目指すべき方向です。

当社は、お客様のご要望の最大公約数的なモーターを標準品として開発することで高品質と低価格の両立を図っています。共通化された部材を世界中のお客様の近くで現地調達、合理化した汎用設備で生産販売する、いわゆる「地産地消」対応で、少機種大量生産を行う徹底的な標準化戦略を当社独自の強みとして、社会への貢献を果たしていきます。

具体的には、より良い製品をより安く安定的に供給し、お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献すること、人々の暮らしを便利に、快適に、安全にするお手伝いをするところこそ、モーター専門メーカーである当社の最重要使命と捉え、モーターの可能性を徹底的に追求し、その価値を磨き上げることに邁進してまいります。

当社は、1964年に香港に拠点を設立、その後、中国、台湾、ベトナムへと、グローバルな生産・供給体制の構築を積極的に進め、その過程において、進出先での雇用創出や技術移転を通じて、当該地域の経済発展、人材育成に貢献してまいりました。

本年は、アジア以外では初となる生産拠点「メキシコマブチ」が量産開始を予定し、グローバル生産・供給体制構築の取り組みが、新たなステージへと進んでおります。これを契機として、より一層ワールドワイドに社会への貢献を拡大してまいります。

更に、当社は企業市民としての社会貢献活動についても積極的に取り組んでおります。特に未来を担う青少年たちに向けて、モーターを通じた教育支援を継続的に行っています。モーターとの出会いが、「ものづくり」や「技術」、「理科・科学」に関心を持つきっかけになることもあるでしょう。工作教室や出前授業で楽しそうに目を輝かしている子供たち、ロボットコンテストで創意工夫を凝らしている学生

たちをみると彼らの今後の成長に夢がふくらみます。

「夢に力を」…これは私たちの強い思いです。社会を創造する主役は人であり、特に次世代の技術者の育成は、国際社会にとって極めて重要です。当社のモーターとその「技術」、そして「ものづくり」を体験する活動を通じて、未来を担う人々の育成に貢献することができれば、大きな喜びであります。

現代社会では、経済発展に伴う地球規模での環境破壊、格差や労働問題など幾多の問題が起きています。企業は社会から切り離されて存在することはできず、社会の繁栄なくして企業の存続はあり得ません。マブチグループはこれからも、事業を通じて、様々なステークホルダーの皆様とともに、こうした社会的問題の解決に向けた活動を積極的に進めてまいります。

今後も、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

経営理念 国際社会への貢献とその継続的拡大

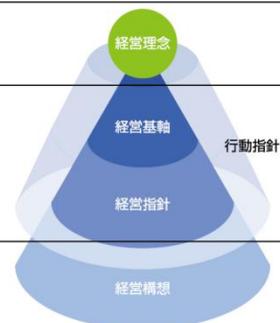
経営基軸

1. より良い製品をより安く供給することにより、豊かな社会と人々の快適な生活の実現に寄与する
2. 広く諸外国において雇用機会の提供と技術移転を行い、それらの国の経済発展と国際的な経済格差の平準化に貢献する
3. 人を最も重要な経営資源と位置付け、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる
4. 地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う

恒久的に変化しない考え方

短期的には変化しない考え方

時代に応じて変化する考え方



マブチの経営ビジョン体系図

モーターによる 社会貢献

マブチグループは、より良い製品をより安く安定的に供給し、お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献するため、モーターの可能性を徹底的に追求し、その価値を磨き上げていきます。



当社の製品は、環境に配慮した高性能・低価格・フレキシブルな生産供給を実現し、広範囲なフィールドに用途を拡大。年間生産量約15億個の世界No.1ブランドです。

環境にやさしい製品づくり

当社は、モーターの省エネ化、小型・軽量化、高出力化、長寿命化などにより、お客様製品の性能アップに貢献し、社会全体の環境にやさしい製品づくりを行っています。



パワーウィンドウ用モーター GD-558RE/LE GD-558RF/LF

パワーウィンドウ用モーターGD-558シリーズに、欧米自動車メーカーの基準に適合した仕様のGD-558RE/LEが加わりました。車体の軽量化によって燃費が向上し、環境にやさしい製品づくりの一端を担っています。



【製品の特長】

1. 欧米自動車メーカーの基準に適合
 - ・欧米自動車メーカーから求められる拘束（停動）トルク性能、コネクタ位置、出力軸DIN※1形状に適合。フロント用ECU※2スロットインタイプGD-558RF/LFも用意
2. 従来製品比※3約14%のトルクアップを実現
 - ・磁気回路の最適設計などにより、ネオジム磁石を使用せず、フェライト磁石で従来製品比※3約14%のトルクアップを実現
3. ギアボックスを薄型化
 - ・ヘリカルギアと出力軸、ギアボックスとコネクタを一体化することで、ギアボックスを従来製品比※3約30%小型化、ドア部の薄型化に貢献
4. 軽量化設計
 - ・モーター一部、ギア部それぞれの最適化設計により重量を約355 gに抑え、従来製品比※3約14%（約59 g）の軽量化を達成

※1 ドイツ工業規格

※2 Electronic Control Unit、電子制御ユニット

※3 当社従来製品GA-558RN/LNとの比較



移動体用モーター IS-92BZA、IS-94BZA

移動体の小型化、電動化に貢献するモーターの開発で、アシスト自転車をはじめ福祉機器にも搭載され、人々の暮らしが安全で快適になるようサポートしています。

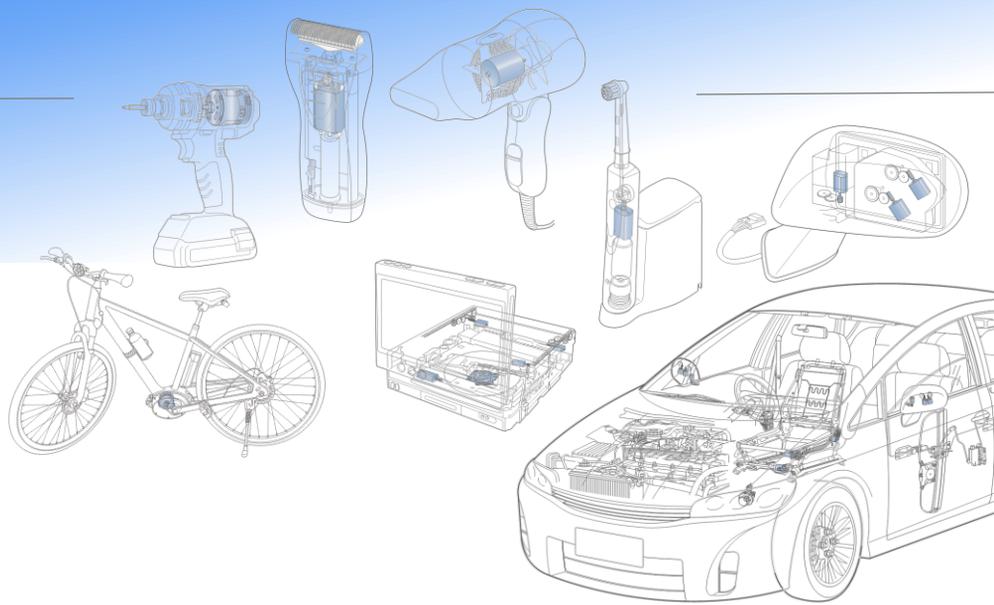


IS-94BZA (上)
IS-92BZA (下)



【製品の特長】

1. 同等性能モーターではトップクラスの小型・軽量化を実現
 - ・埋込み磁石型ローター構造の採用をはじめ、モーター内部の空間を最大限有効に利用する高密度設計
 - ・ローターコア形状など、徹底した磁気回路の最適化により、高出力、高効率を達成
2. ラインナップ化を推進
 - ・想定用途に対応し、IS-94BZA(長さ=45.5mm)と部品を共有したショートタイプ「IS-92BZA」(長さ=38.5mm)も同時リリース



複写機・複合機（MFP）用ブラシレスモーター IDシリーズ

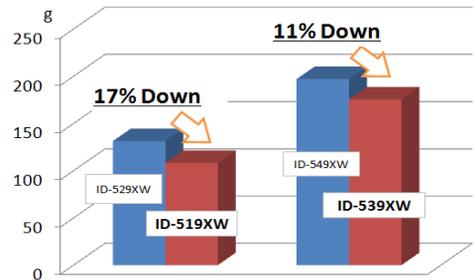
IDシリーズは、複写機・複合機（MFP）向けインナーローター型ブラシレスモーターです。従来のステッピングモーターに対し環境性能の高いIDシリーズは、お客様のシステムの小型・軽量化、省電力といったニーズにお応えしています。

【製品の特長】

1. 同等出力のステッピングモーターと比較し、消費電力・重量を削減
2. モーター駆動回路及び回転数・位置検出用のエンコーダーを搭載
3. ステッピングモーター特有の低速・高速域における脱調（同期はずれ）レス
4. ネオジム磁石を使用しないことでコストの安定化を実現



ID-519XW (右)
ID-539XW (左)



自動原稿送り装置（ADF）

- ・原稿を連続して原稿台（スキャナー部）へ送る装置

自動排紙装置

- ・印刷後の用紙を排紙トレイへ送る装置

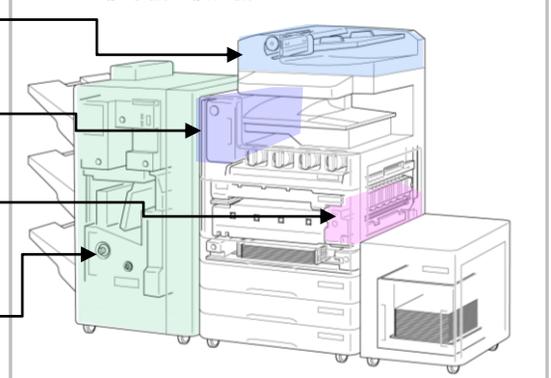
自動給紙装置

- ・用紙を給紙トレイから印刷位置にセットする装置

自動後処理装置（フィニッシャー）

- ・印字された用紙に、「ステープル綴じ」や「パンチ穴開け」などの後処理を施す装置

複写機・複合機（MFP）イメージ



製品使用例

社会性報告

マブチグループは、より良い社会の実現と、その持続的発展のため、社会の一員としての様々な社会的責任を果たし、資源を有効に活用し、社会に貢献する活動をグローバルに行っています。

コーポレートガバナンス

コンプライアンス

リスクマネジメント

ものづくり・教育に対する支援活動

地域支援活動

活気のある職場づくり



ダナンマブチは「市の経済と社会発展への貢献賞」を受賞しました。

コーポレートガバナンス

当社は、コーポレートガバナンス強化は経営に欠かせないものと考え、透明性の高いガバナンス体制の構築を行っています。

基本的な考え方

当社は、小型モーター事業を通じた「国際社会への貢献とその継続的拡大」を経営理念に掲げ、その実現にこそ当社の存在意義があるものと認識しています。当社のコーポレートガバナンスは、この経営理念の実現をサポートする機関設計、経営管理体制、及びそれを維持するための経営上の諸施策からなります。したがって、適切なコーポレートガバナンス体制を整備し、運用する基本的な目的は、適正利益の創出と企業価値の向上を通じて、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの利益に継続的に貢献することであり、上場企業としてのコーポレートガバナンスについては、次のような体制を構築、維持することが不可欠であると考えております。

- ・ 経営上の意思決定と効率的な業務執行が明確な区分をもって行われ、責任の所在が明らかであること。
- ・ 適切な内部統制システムが構築され、運用されていること。
- ・ 株主と利益相反のない独立役員が相対数選任され、経営監視機能の客観性及び中立性が確保されていること。
- ・ 企業倫理とコンプライアンスの実践が、組織の社会的公平性を支え、すべてのステークホルダーからの信頼と期待に応える基本である、という認識が企業

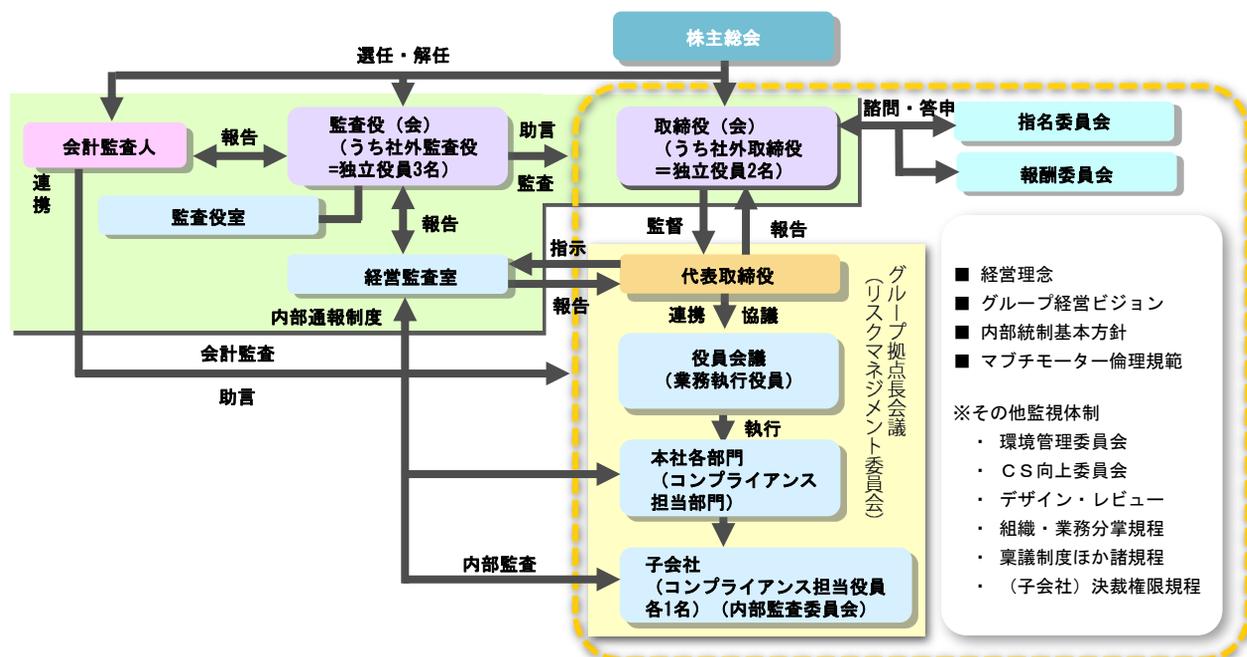
- 文化として全従業員によって共有されていること。
- ・ 株主をはじめとするすべてのステークホルダーに対し、適正、公平、適時かつ明瞭に企業情報の開示が行われ、取締役会及び監査役会等によるアカウンタビリティが確保されていること。

体制・システムの構築

当社は、監査役会設置会社であり、会社法に規定されている会社の機関（独立役員を含む）、会計監査人などが、それぞれ法令に基づく機能を果たし、加えて当社独自で設置する役員会議、経営監査室（内部監査部門）、指名委員会、報酬委員会、その他の業務執行や内部牽制に係る組織による体制とシステムを構築し運営しています。

海外拠点においても、それぞれの国の法令などに基づく機関や当社の内部組織によって内部統制が実施されています。グループ経営ビジョンを通してグローバルに企業文化や価値観を共有するとともに、海外拠点経営者会議をはじめとするマブチグループ全体の会議の開催や、経営監査室による海外拠点の業務監査の実施などにより、内部統制機能の向上に努めています。

コーポレートガバナンス体制（模式図）



* 対象期間外（2016年3月31日現在）

コンプライアンス

法令遵守や企業倫理の維持は、企業としての社会的義務であると同時に、企業が存続・発展していくための経営の根幹です。
マブチグループ社員一人ひとりが理解して守るべく、コンプライアンス体制を強化しています。

マブチモーター倫理規範

当社は「国際社会への貢献とその継続的拡大」を経営理念に掲げ、その実現に向け企業活動を行っておりますが、この実現にあたっては、各国の法規制を守ることが勿論のこと、社会から求められる企業倫理に沿った活動を行うことが大前提であると考えています。

そこで、「マブチモーター倫理規範」を制定し、すべての役員・社員が守るべき法令等の社会ルールを具体的に示し、その浸透を図ってまいりました。これら活動の効率化となお一層の周知を図ることを目的に、すべての役員・社員に小冊子にして配付しております。

今後も、コンプライアンス（＝法規制及び社会規範の遵守）に関する様々な説明会や研修を実施し、コンプライアンス経営の確立を目指しております。

マブチグループ全拠点においても、コンプライアンス担当役員を設置して体制の強化を図っています。コンプライアンス担当役員は、本社の内部統制担当役員による統括の下、個々の拠点におけるコンプライアンス活動に関する責任者として、拠点内の内部統制の強化と自律的かつ継続的なコンプライアンス活動の推進に関する中心的な役割を担います。

また、これらコンプライアンスに関する業務遂行の不備などの継続的な是正・改善を目的として、本社の内部監査部門が、マブチグループ全体のコンプライアンスに関するルールや手順の遵守状況、その他の倫理に反する行為について、定期・不定期に監査を行い、その結果を経営トップに報告しています。

倫理規範ホットライン

コンプライアンスに関する情報の伝達や相談について、通常のルート（上司や組織部門の窓口など）とは別に、内部監査部門が管理する、匿名性が担保された「倫理規範ホットライン」を設置しています。

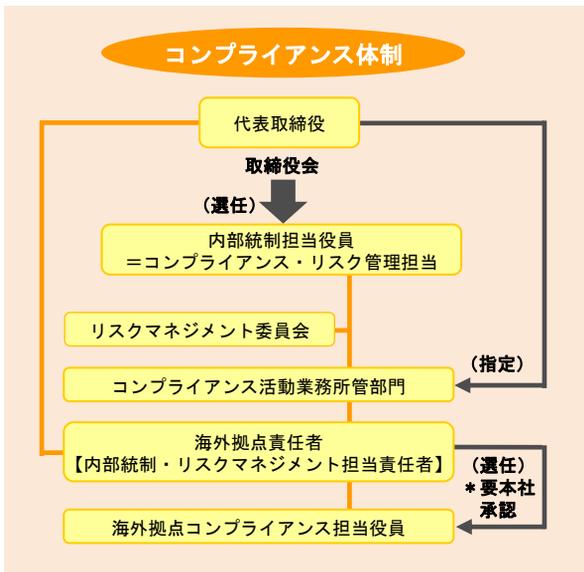
当社は、お取引先様とも日頃から誠実で公正なお取り引きと相互信頼関係の構築に努めていますが、問題発生 of 未然防止並びに拡大防止体制を強化するために、「倫理規範ホットライン」の対象範囲を、社員のみならずお取引先様の一部に拡大しています。

また、公益通報者保護法を遵守し、相談者の不利益を発生させないことを約束するトップメッセージを発信しています。

【倫理規範基本方針（概要）】



1. マブチグループのすべての役員・社員は、会社の利益や業務に優先して、会社所在国・地域の法令・条例・規則及び国際ルールを守ります。
2. お取引先様をはじめ、株主・投資家様、地域社会など広範な利害関係者への責任を十分認識し、社会倫理に反する行為を厳に慎みます。
3. 法規制、社会倫理の中でも特に注意を要する事項に関しては、規程類などに明確に記載し、周知徹底を図ります。そして、すべての役員・社員は、これらを誠実に守ります。



リスクマネジメント

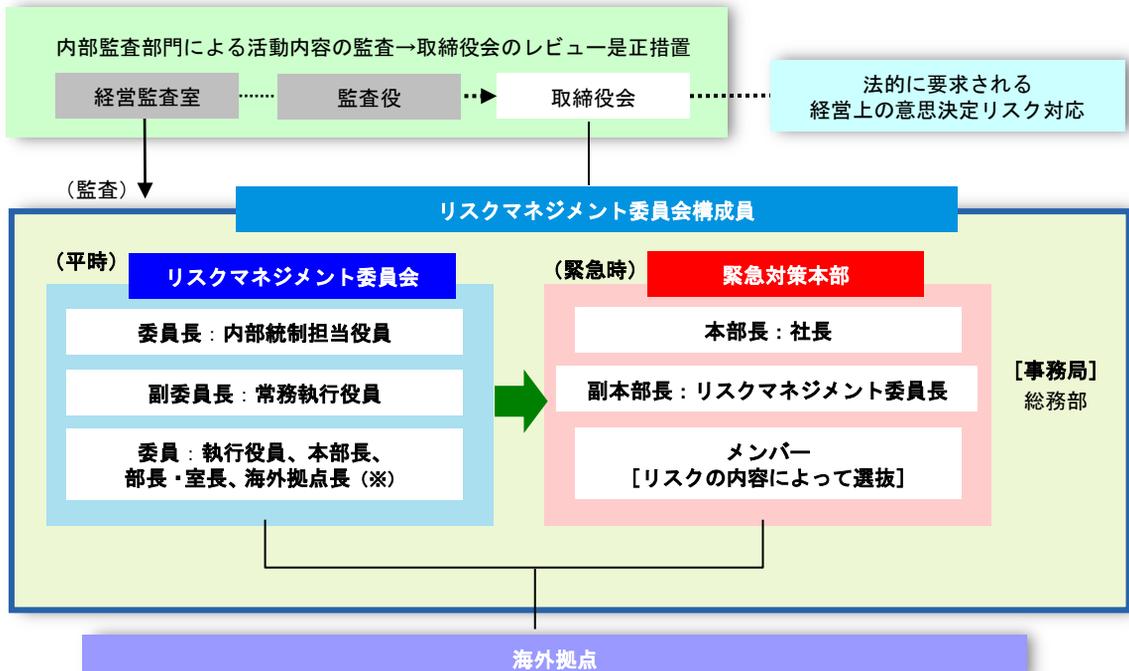
マブチグループは、グローバルな事業活動を遂行し永続的な成長軌道を実現なものにするため、多様化する事業活動上の様々なリスクの軽減・最小化を図るべく、リスクマネジメントの充実・強化に取り組んでいます。

リスクマネジメント体制

当社はリスク発生の未然防止やリスクが発生した場合の損害の最小化を目的として「リスクマネジメント委員会」を設置しています。マブチグループ全体として最適な対応を可能とする体制を確立するとともに、この体制をベースに、緊急時における対応

・方針・各種マニュアルなども整備しております。
また、各部門が業務上個別に抱えるリスクへの対応については、マブチグループの目標管理制度に組み込まれ、トップマネジメントの承認、進捗管理のもと、部門ごとに展開しています。

リスクマネジメント委員会の位置づけ



※海外拠点長は非常勤メンバーとする（リスクマネジメントに関して必要な情報共有は適時行う）

考えられるリスク

【外的要因】

自然災害、社会犯罪、国際・政治情勢、金利・通貨・資材価格などマーケット流動性リスク など

【内的要因】

製品品質・安全性、コンプライアンス、情報通信システム、知的財産権、労災、設備災害、環境、労務、人権、風評、サプライヤー、物流、M&A など

リスクマネジメント委員会の対応

- ① 人命（安全）確保
 - ② コンプライアンス
 - ③ 情報セキュリティ
 - ④ 生産・供給停止
- に分類・特定

それぞれリーダー部門を決め、経営陣と関連幹部社員とで連携を図りながら、マブチグループ全体でのリスク対策活動を継続的に実行

災害対応マニュアル&各種訓練

当社では、「管理職の初期行動・指示マニュアル」、「災害時一般社員行動マニュアル」の作成、「大規模災害発生時緊急対応カード」の配付、「安否確認システム（全本社社員対象）」の導入などを行うとともに、緊急対策本部をはじめ、災害時に重要な役割を担う部門においてそれぞれ対応マニュアルを策定しております。

また、防災教育や各種訓練（避難・通報・消火、救急救護、安否確認、帰宅報告ほか）を定期的を実施し、全社員が落ち着いて適切な行動をとれるように努めております。

更に、災害時に必要な備品・資機材や飲食料、生活用品を備蓄し、災害発生時の安全確保や帰宅困難者に対する備えにも万全を期しています。特に、地下水を飲料水として使用している当社は、断水時にも相当量の飲料水が確保できることから、松戸市と給水協定を締結し、地域の被災者に対する給水支援を行える準備もしています。



大規模災害発生時緊急対応カード



消防署指導のもと実施した消防訓練／上
避難訓練／左（本社）



救急救護訓練／上
交通事故防止教育／左（中国）



消火演習（ベトナム）



消防訓練（中国）

備品・資機材や飲食料などの備え（本社）

- 災害時優先電話を本社屋に2回線常備
- 停電時を想定した連絡手段として、災害用PHS
- 停電時の対策として、緊急対策本部運営及びコンピューターシステム保護のため、必要な自家発電装置及び燃料、仮設トイレ
- 緊急避難時に必要なヘルメット
- 帰宅者に配付する飲料水
- 帰宅困難者の発生に備えて、3日間生活できる分量の飲食料及びトイレ用水
- 設備・什器・備品などの転倒防止策
- 設備・什器・備品などの復旧または応急措置、被災社員の支援、地域社会に対する支援を目的とする機器・機材 など



情報セキュリティポリシー

当社は、保有する情報資産の管理及び情報セキュリティ管理を適切に行い、情報の漏洩、改ざん、滅失、盗難等を防止することが企業の社会的責務の一つであると認識し、役員を含めたすべての社員が情報セキュリティの必要性及び責任について理解を深めるとともに、「情報セキュリティポリシー」を定め、情報セキュリティの確保に万全を期しております。

個人情報保護方針

当社は、個人を識別し得る情報（以下「個人情報」といいます）を適切に取り扱い、保護することを当社の重要な責務であると認識し、「個人情報保護方針」に基づき個人情報の保護に努めます。

ものづくり・教育に対する支援活動

当社は、経営理念「国際社会への貢献とその継続的拡大」を実践すべく、地域社会・国際社会への支援活動を行い、広く社会の発展に貢献しています。中でも、未来を担う学生・子供たちに「ものづくり」や「理科」の楽しさを伝え、成長をお手伝いできる活動に力を入れています。

ロボットコンテストへの協賛

当社は、未来を担う若き技術者の育成と科学技術の発展に寄与できることを願い、「高専ロボコン」「ABUロボコン」「学生ロボコン」に協賛し、継続して大会運営支援やモーターの提供などを行っています。



ABUロボコン2015



学生ロボコン2015

モーター支援

高専ロボコンへのモーター支援 累計約20,400個



ギアヘッド付RS-555VC (上)
ギアヘッド付RS-385PH (下)



JC/LC-578VA
ほか



高専ロボコン2015

子供たちに「理科」の楽しさを伝えています。

出前授業

毎年、当社社員による理科出前授業を本社所在地（松戸市）の小学校を対象に実施しています。子供たちから、「モーターの部品を手にとり、磁石の実験をすることなどで『理科』が楽しくなった」と感想をいただいています。

また、中国 江蘇省の日本人学校でも江蘇マブチ社員による出前授業を実施しました。



地元小学校での出前授業（本社） 日本人学校での出前授業（中国）

科学技術館での展示、イベント実施

科学技術館（東京都・千代田区）にて常設展示を行い、モーターの基本原理や、私たちの暮らしの中で活躍しているモーターとモーターを使った工作などをわかりやすく紹介しています。

また、科学技術館との共催で、理科実験教室を開催しています。



科学技術館での理科実験教室（本社）

子供たちとともに「ものづくり」を楽しんでいます。

夏休み工作教室

本社所在地（松戸市）の児童（小学4～6年生）を対象とした「夏休み親子モーター工作教室」を、毎年開催しています。多くの子供たちにもものづくりの楽しさを体感していただくこの工作教室を今後も継続して行います。



社員が講師を務める
夏休み工作教室
「簡単発電！紙とんぼ&
ゾートローブをまわそう！」



木工工作イベント

夏休み以外にも、5月には静岡ホビーショー、9月に千葉県立現代産業科学館、10月には東京モーターショーにて、当社モーターを使用した木工工作を楽しんでいただきました。



千葉県立現代産業科学館での工作イベント



東京モーターショーでの工作イベント

職場体験・見学

地域小学校のキャリア教育の一環で行われている職場体験を継続的に受け入れています。

海外拠点でも、地域の児童を招待し、職場見学を実施しています。



職場見学の様子（中国）

海外拠点の教育支援

中国拠点では、地域の小学生から大学生までの生徒に対して、校舎の建設や奨学金の支援、書籍や学習用品の贈呈などの教育支援を継続的に行っています。



中・小学生へ奨学金支給

小学校へ書籍・
運動用品を贈呈



インターンシップ制度

これから社会に出ていく学生に就業体験の機会を提供して、働くことを実感し当社理念の理解を深めていただくため、高等専門学校生、大学院生、米国大学生のインターンシップを本社にて受け入れました。



高等専門学校からのインターンシップ生
も例年受け入れ（本社）



海外インターンシップ生
（本社）



小学生の子供がいる社員にランドセルや文房具を贈呈



小学校へ浄水器を贈呈

（中国）

地域支援活動

当社は、マブチグループ全体で、地域に根ざした環境保護、社会福祉活動などを継続的に実施しています。

地域社会との共生を目指す本社

本社棟建設時には、『地域社会との共生』をコンセプトの一つとして、敷地内の開放的な前庭に、『ビオガーデン』と呼ばれる、なだらかに流れる水景と野原を配置しました。

築11年を経た現在でも、周囲の緑との調和に努めた植栽管理を継続し、生物多様性の保全に配慮した地域特有の植生の再現や、外来種の排除などを含め、地域環境の向上に貢献しています。



野鳥も訪れるビオガーデン
(2013年に松戸市景観大賞を受賞)

地域支援

マブチグループでは、児童養護施設や老人ホームへの慰問活動や寄付活動を、継続的に実施しています。



老人ホーム（左）、孤児院（右）への慰問活動（ベトナム）

児童養護院への訪問（中国）

献血活動

当社は、本社をはじめグループ全体で積極的に献血活動に協力しています。



(本社)



(中国)

海外拠点でも、植林・美化・清掃活動を積極的に行っています。



工場周辺の清掃活動（中国）

活気のある職場づくり

当社は経営基軸の中で「人を最も重要な経営資源と位置付け、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる」と掲げ、海外拠点も含め、社員としての基本的権利を尊重し、社員一人ひとりが自己実現、自己成長ができ、働きがいを感じられる職場づくりに積極的に取り組んでいます。

人事評価制度・自己申告制度

当社の人事評価制度は、様々な役割を果たす社員一人ひとりの貢献を的確に把握し、会社の成長と社員の成長がともに実現できることを目指しています。そして、この制度をマネジメントツールとしてだけでなく、人材育成ツールとしても積極的に活用しています。

また、社員一人ひとりのやる気と能力を引き出し活用するためには、「適材適所」と「職場風土醸成」が重要です。それを検討し実現する上での必要情報として、社員の職務に対する意識を把握することを目的とした定期的な社員の自己申告を実施しています。

社員表彰制度

当社は、永年(30・20・10年)勤続、社業に貢献、他の模範となる行動、地域社会貢献などを行った社員に対して、毎年創立記念式典にて表彰状を授与する制度を行っております。これは、マブチグループ全社員を対象としたもので、2015年の金賞は、ベトナムマブチの社員に対して贈られました。



障がい者雇用促進

当社は、障がいのある方もない方も同様に、個人の能力と適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指し、本社をはじめグループ全体で雇用を促進しています。

社内での生活、仕事などあらゆる面において、障がいを持つ方にも配慮した措置を設け、快適に勤務できる環境づくりに努めています。

ワーク・ライフ・バランス

当社は、社員がやりがいや充実感を持ちながら働くとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じた働きやすい環境づくりを推進しています。

法令を上回る内容の育児休業期間設定及び子育て中の社員の時短制度の導入などをはじめとするファミリー・フレンドリー施策を推進し、千葉県「社員いきいき！元気な会社宣言」にも参加しています。

千葉労働局より、次世代育成支援対策推進法に基づく「基準適合一般事業主」として認定を受け、次世代認定マーク「くるみん」も取得済みです。



働きやすい環境づくりにむけて

- ・育児休業(3年)・介護休業(1年)
- ・育児・介護休業中の自己啓発支援
- ・配偶者出産時休暇制度：取得率100%
- ・不妊治療のための低利融資制度
- ・育児・介護のための勤務時間短縮や所定外労働免除などの措置の導入
- ・有給休暇取得促進
- ・福利厚生施設の充実

など

労働者のための企業表彰

ダナンマブチは、ベトナムの労働者・社会問題省・労働新聞・商工会などからなる委員会より、労働者向けの施策実績があった企業として表彰されました。

生産・販売による事業を通じて、納税や雇用など、社会に多大な貢献を行った点、また、組合活動を積極的に行い、就労環境の改善に努力した点が評価されました。



海外拠点実務交流

マブチグループ全体の一体感醸成、協働体制の構築、情報の共有化、総合力アップなどを狙いとして、海外拠点スタッフの当社への出張機会を意識的に設け、実務を通じた交流を実施しています。

今後もこの制度を充実させながら、継続していきます。



社員が学び成長できる研修

当社の研修制度は、社員が自律性を持ち、自ら学び成長していくためのプロセスの一つと考えています。役員から新入社員までを対象に、多様な視点で研修を行っています。



様々な形の研修を開催（本社）

海外拠点での人材育成の取り組み

マブチグループでは、毎年生産拠点代表者が一堂に集まり、技能競技会を開催しています。優秀な成績を獲得した社員は、表彰状されます。各拠点内でも、同種のイベントが行われ、社員同士が切磋琢磨して技術の向上を図っています。



2015年は中国拠点で開催

教育支援・資格取得奨励制度

◇英語学習支援

社員が国際社会への貢献を具現化できるよう、語学（特に英語）を学習する風土づくりのため、以下の施策を行っています。

- ・TOEIC受験の機会提供
 - ・TOEIC対策講座開催
 - ・オンライン英会話システム利用の機会提供
 - ・短期留学制度
 - ・トレーニー制度
- など

また、海外からのインターンシップ生による英会話教室や専門知識講義により、グローバルコミュニケーション力の向上を図っています。

◇資格取得奨励制度

社内に「自ら学ぶ風土」を醸成し、業務遂行に役立つ知識を幅広く習得することを狙いとして「資格取得奨励制度」を設け、自己啓発を促進しています。

また、「マブチビジネススクール」（通信教育）を毎年2回開講し、受講修了者にはその費用を助成することで、多くの社員が自由に積極的に学べる風土を醸成しています。

◇多目的自習室

語学や資格取得に向けて、個人の目標・レベルに合わせた学習や、グループディスカッションなどに利用できるように「多目的自習室」を社内を設置。パソコン・無線インターネット環境・各種教育ソフト・書籍・英語の新聞・雑誌などを用意し、社員各自が業務前後や休

み時間などを活用して自己啓発に役立てられる施設となっています。



多目的自習室（本社）

新拠点社員への研修

2016年に量産開始を計画しているメキシコマブチの社員の研修を、本社「ものづくり道場」及び江蘇マブチにて行いました。当社のものでの考え方を基礎から伝え、コアとなる人材の育成をしています。



社員や家族が楽しめるイベントの開催

当社は、会社で働くすべての人々のコミュニケーションの円滑化と一体感の醸成を目的に、ガーデンパーティーや所属対抗ボウリング大会など様々な活動を行っています。



家族も一緒に楽しむガーデンパーティー（本社）



所属対抗ボウリング大会（本社）

心と身体の健康への取り組み

社員の心と身体が健康で、いきいきと働けることは、社会生活の基礎であり、企業の活力向上につながる。と考え、本社では20年以上前からメンタルヘルス調査を実施するとともに、社内カウンセラーの設置や「メンタルヘルス講習会」の開催をしています。

本社では、2015年より社内禁煙施策を開始。保健師による禁煙セミナー（右）も開催いたしました。



また、人間ドックを受診希望する35歳以上の社員に対する受診費用補助や、健康診断後に産業医による健康相談を行っています。

海外拠点においても、それぞれの国や地域の状況に合わせて、社員の心と身体の健康への取り組みを展開しています。



社員向け健康講座を開催（中国）

海外拠点の社員参加イベント

海外拠点でも、定期的にスポーツ大会や社員旅行、文化祭など、社員が参加できるイベントを実施しています。



地域運動会への参加、新年会開催など（中国）

環境報告

マブチグループは、地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行い、環境マネジメントシステムを通じて継続的改善に努め、持続可能な社会を目指します。

環境マネジメント

グリーン調達

環境にやさしい企業運営

環境コミュニケーション

環境リスクマネジメント

環境データ

マブチモーター環境の歩み

1993年	「経営基軸」において「地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う」ことを明文化	2001年	「環境報告書」を発行開始 はんだの鉛フリー化量産準備完了
1997年	環境問題への具体的対応を図るため、「環境管理委員会」を設置	2002年	六価クロムフリーモーターのサンプル出荷開始
1998年	マブチグループの「環境基本方針」を制定	2004年	最新の省エネ技術を用いた本社新社屋竣工
1999年	ISO14001の認証取得	2006年	全製品を、欧州RoHS/ELV指令適合品に切り替え、全拠点で「グリーン調達説明会」を開催
2000年	グリーン調達活動開始（モーターのカドミウムフリー化代替材選定評価完了）	2008年	「環境報告書」を「社会・環境報告書」に変更（社会的な取り組みについても掲載）
		2012年	環境基本方針を改訂し、「マブチグループ環境方針」とする

環境マネジメント

当社は、本社及び全生産拠点に「環境マネジメントシステムISO14001」を導入し認証を取得しています。また、グループ、本社、各拠点・各部門において環境目標を設定し、徹底したPDCA管理を行い、積極的に環境マネジメントに取り組んでいます。今後も環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進し、高いレベルの環境保全活動を実施していきます。

環境マネジメントシステムの構築

取締役が環境管理統括責任者として、グループ全体の環境マネジメントシステムを管理しています。

本社では「環境管理委員会」を設置し、環境管理統括責任者が委員長となり、部長・室長で構成されたメンバーで、マブチグループの環境方針、環境目標、施策などの審議、決定を行います。

また、環境管理委員会の下には、化学物質専門部会、省エネルギー専門部会を設け、それぞれ専門的な施策を提案し環境保全活動を推進しています。

環境監査

当社の環境マネジメントシステムがISO規格の要求と合致しているか、有効に運営されているかについて、審査登録機関（第三者）及び社内の監査部門により監査を行っています。これらの監査を通じて、環境管理レベルの継続的維持・向上を図っています。



第三者環境監査（本社）

環境管理組織図



マブチグループ環境方針

私たちは、地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行い、環境マネジメントシステムを通じて継続的改善に努め、持続可能な社会を目指します。

1. 環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、環境汚染の予防・防止に努め、事業活動が環境に与える影響を常に認識し、自主基準を設定して管理します。
2. 事業活動に伴う主要な環境負荷を軽減するため、以下について重点的に取り組みます。
 - 2.1 CO₂の削減と限りある資源を有効活用するために、省エネルギー、省資源化、リサイクル及び廃棄物の減量化に積極的に取り組みます。
 - 2.2 製品及び製造過程において、環境負荷物質の管理を徹底し、環境に負荷を与える物質は可能な限り代替物質への転換を行います。
 - 2.3 環境に配慮した部品・材料を積極的に使用する“グリーン調達”を行います。
 - 2.4 生物多様性の保全を企業の重要な課題と認識し、生態系に配慮した取り組みを推進します。
3. 従業員一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図るため、積極的に教育活動を行います。
4. この環境方針は、全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

マブチモーター株式会社
代表取締役社長

大越博雄

制定：1998年9月27日 改訂：2013年3月28日

グリーン調達

当社は、製品の原材料・部品などをお取引先様から調達する際に、法令、規制、お客様要求に加え、当社独自の基準を設け、この基準に定められた環境禁止物質について厳格に管理運用を行い、環境負荷の小さい部材を優先してしております。

また環境マネジメント規格であるISO14001の認証を取得したお取引先様から優先して調達することも考慮に入れております。

グリーン調達の推進

原材料の資源採取から、製造・加工、流通・販売、消費・使用、廃棄・リサイクルにいたる製品ライフサイクルにおいて環境負荷の少ない製品の開発に取り組むためには、自社だけの環境保全活動では十分とはいえません。そこで、お取引先様の各種環境への取り組み状況も評価し、お取引先様とともに、環境負荷の低減や環境リスクの回避を図っています。

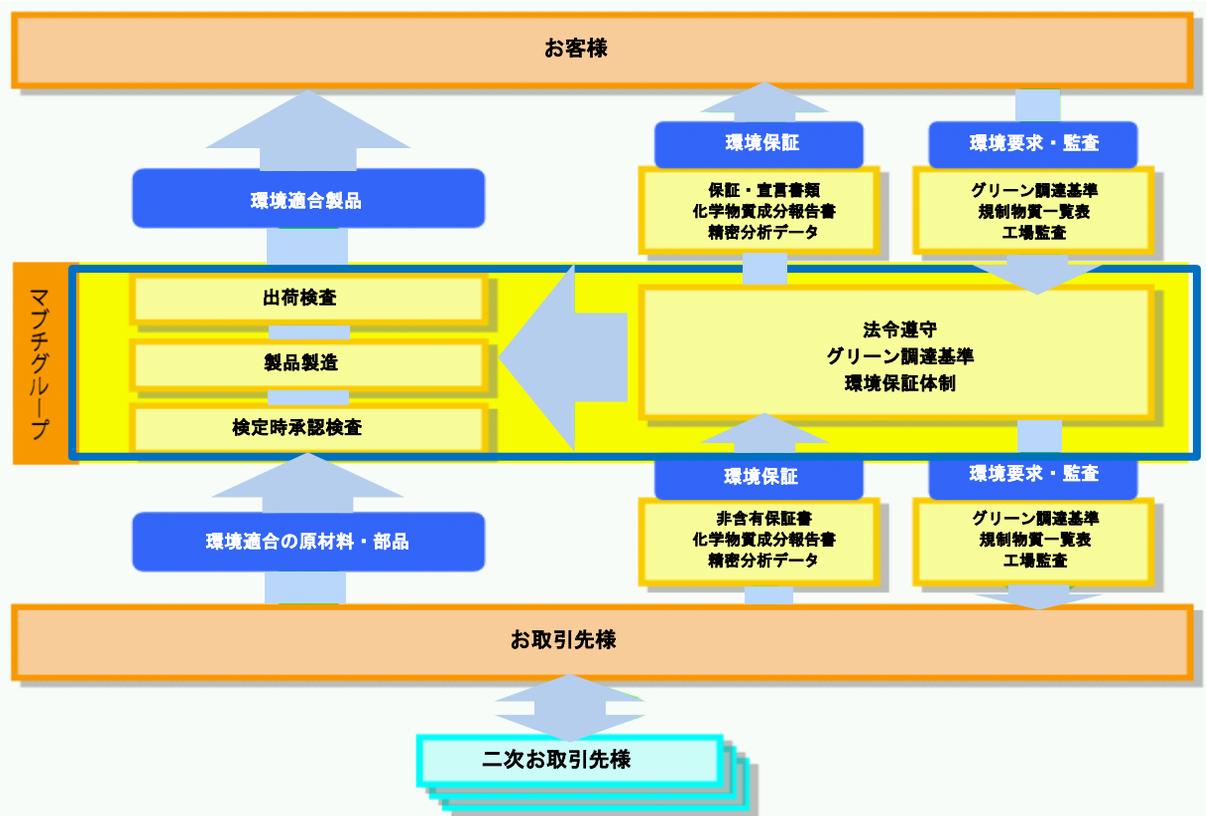
下図のように、お取引先様には、グリーン調達活動を実施のうえ、環境活動調査表に加えて、部品・材料に環境禁止物質が含まれないことを保証する書類を提出いただいています。

必要に応じて「グリーン調達説明会」を開催するとともに、お取引先様の環境負荷物質の使用・保管状況を確認するための環境監査も積極的に実施しています。2015年度は、約50社のお取引先様に対する環境監査を実施しました。

日常のお取引先様とのコミュニケーションや、環境負荷物質の使用・保管状況の監査活動を積極的に行うことで、2006年の欧州RoHS指令の施行から現在に至るまで、環境クレームは発生しておりません。

今後も、お客様、お取引先様とともにグリーン調達活動を進めていきます。

グリーン調達フローチャート



環境にやさしい企業運営

マブテグループ全体で、企業運営という視点でも、地球環境を保護するために様々な工夫、改善、対策を継続的に実施しております。

環境に配慮した新工場建設

メキシコマブチの建設において、省エネルギー・省資源に向けて次のような対策を設計に取り入れることで、環境負荷低減に努めました。

- 工場内、事務所内への全面的なLED照明の採用
- 省エネ・省水タイプの空冷式クローズ配管型冷却水システムの導入
- 緑地への灌水量を削減する外構計画として、多肉植物を多用



新工場建屋（メキシコ）

高雄マブチが資源回収優良企業に

高雄マブチは、台湾高雄市楠梓加工区管理處より、「資源回収（廃棄物リサイクル）優良企業」として2年連続で表彰いただきました。



表彰トロフィー

本社照明のLED化

東日本大震災に伴う電力不足以降、本社では、社内照明を必要最低限にまで落とした形で運用してまいりましたが、昨今の省エネ照明技術の進歩を勘案し、LED化による省エネへシフトする取り組みを行っています。



社員立体駐車場建設における環境への配慮

本社の社員立体駐車場建設において、LED照明の採用はもとより、建設工事段階における環境への配慮として、木製型枠、足場材、掘削土の削減などにより、約8トンのCO₂排出量を削減しています。



社員立体駐車場（本社）

VOICE

株式会社シミズ・ビルライフケア
ビルマネージメント事業部門 千葉営業所
飯島 一人 様

本社の施設管理業務をさせていただいております。弊社はマブチモーター株式会社の環境方針である「地球環境と人々の健康を犠牲にしない企業活動の実行」に沿い、環境負荷を軽減する一助となるよう、環境意識の向上を図り、弊社技術管理部と協業して、設備員一同施設管理運営に注力、「より良い職場環境の提供」を目的として日々精進してまいります。



環境コミュニケーション

環境への取り組みにおける理念や、環境マネジメント活動の情報を社内外に向けて発信しています。これらの活動を通じて、社員はもちろん、お取引先様をはじめ、広く社会の皆様にも、当社の環境保全への姿勢、取り組みへの理解を深めていただけるようにしています。

社会・環境報告書の発行 及びホームページによる環境情報発信

ホームページ上で公開している「社会・環境報告書」を通して、当社の企業市民としての社会的責任を果たす姿勢や状況についてご説明し、マブチグループと関わるすべての方々とのコミュニケーションを更に充実させてまいります。



ホームページ 環境・社会貢献活動情報

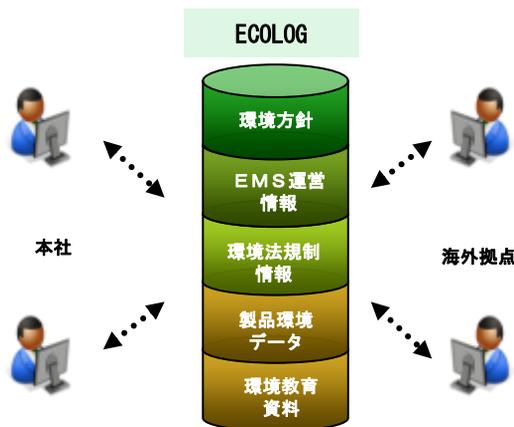


環境コミュニケーション活動の展開

マブチグループ全体で、環境情報の共有化及び環境保全活動を効率的に行うため、本社及び海外生産拠点の環境管理責任者で構成される「環境管理責任者会議」を毎年開催しています。

また、社内イントラネット上に「ECOLOG」という環境情報を集約したデータベースを作成し運用しています。本社をはじめ世界各地の社員が、「ECOLOG」を通して、様々な環境情報を共有し活用しています。

その他、当社の環境対応の現状や、最新の環境情報を社内報に掲載して社員の環境意識の向上を図っています。



環境管理責任者会議（テレビ会議）



社員食堂に掲示されている環境関連情報（本社）



環境を考える標語・ポスター 作品コンテスト

社員の環境意識の向上を図るために、マブチグループ全体で「環境を考える標語・ポスター作品コンテスト」を毎年開催しています。

本社及び海外拠点から集まった 120点の作品から選ばれた受賞作品を本社食堂に展示し、環境意識をより一層高めました。



コンテスト入賞作品展示（本社）

☆受賞作品例

ポスター部門



標語部門

- 让环保扎根万宝至，用绿色昭示万宝至的未来
(グリーン経営のマブチを目指し、環境保護の根をおろそう)
- 绿色环保，节约资源，做身边的事，做力所能及的事
(環境保護と資源節約は、身近なことから、できることから)
- 垃圾混置是垃圾，垃圾分类是资源
(混ぜたままではただのゴミ、分類すれば資源に変わる)

環境教育

社員の環境に関する意識の向上を図るために、階層別、目的別の環境教育を実施しています。



廃棄物分別教育（本社）

1-2 なぜ『みんなでやる環境』か？

① 一人一人の活動があってこそ、環境事故を未然に防止できます！

一人一人の活動が、あらゆる環境リスクを極小化する！
法令違反、環境不適合の流出、環境事故の未然防止など
<ポイント>

- (1) 担当者がいなければ対応出来ない ⇒ 会社として許されない
- (2) 一人が起した問題 ⇒ 結果的に会社の問題となる
- (3) 社会的な制裁 ⇒ 会社に対して行われる

環境活動は全員参加で行うのが鉄則！
マブチでは『皆で行う環境を目指す！』

『環境負荷物質の流出』『火災・爆発』『化学物質漏洩』等の環境事故を起こすと、結果として会社の社会的な責任を問われ、信用を失います

全社員が共有している環境教育資料の一部（本社）

環境リスクマネジメント

当社は、環境に重大な影響を及ぼす事故（環境事故）を未然に防ぐため、徹底した化学物質の管理を行うとともに、緊急時に速やかに対応できるよう訓練を行っています。

緊急事態発生時の対応訓練

緊急事態発生時の環境汚染の予防・拡大防止のため、各業務の特性に合わせて、様々なケースを想定した緊急時の処置・通報訓練を実施しています。



(ベトナム)



(中国)



(本社)

環境データ

	単位	2011	2012	2013	2014	2015
購入電力量	(万kWh)	16,454	16,443	16,351	17,331	18,388
CO ₂ 排出量	(t-CO ₂)	117,487	98,301	84,057	85,860	88,196
最終廃棄物量	(t)	1,069	1,387	1,437	1,503	1,273
水使用量	(千m ³)	1,176	1,191	942	886	815
石炭使用量	(t)	14,986	8,551	2,876	1,650	0

このデータは本社及び主な海外生産拠点のデータを元に計算しています。



発行：2016年5月
〈お問い合わせ先〉
マブチモーター株式会社
管理本部 総務部
〒270-2280
千葉県松戸市松飛台430
TEL：047-710-1111
E-Mail：kankyo@mabuchi-motor.co.jp